

構造計算書の全体構成についてのお願い

構造審査をするに当り、構造計算の進め方に沿った計算書構成をして戴きますと、構造審査時間が短縮いたします。

下記に参考例を記載しました。

構造計算安全証明書

注記 捺印・割印（正本は朱肉）を注意してください。 また、軒高・最高高さ・延べ床面積など意匠と十分に摺り合せてください。

構造計算概要書

構造計算書表紙

記載事項
意匠事務所名・建築士番号・氏名・事務所登録番号など
構造事務所名・建築士番号・氏名・事務所登録番号など

§ 1 . 一般事項

記載事項
建物概要・規模・基礎形式などの基本事項及び使用材料の強度・使用場所・杭や地業方法及び縮小構造図など

§ 2 . 準備計算

記載事項
積載荷重・地震荷重・積雪荷重・風荷重・土圧・クレーン荷重・設備荷重・固定荷重・積載荷重と固定荷重の合計・特殊荷重などの計算及び配置一覧

§ 3 . 二次部材の設計

記載事項
小梁・片持梁・間柱・デッキ床・スラブ（片持床）・クレーン関係部材・中空スラブ等の二次部材関係計算
尚、二次部材の設計には荷重名（パラベット・壁自重）を記載していただきますと幸いです。

§ 4 . 基礎の設計

記載事項
ポーリング会社の調査報告書・杭の支持力計算（長期支持力・短期支持力・引抜抵抗力・極限引抜抵抗）・杭芯ずれの検討・基礎フーチングの設計・袴筋の設計（杭頭曲げ応力で計算）など基礎に関する計算

§ 5 . 主架構の補足検討

記載事項
柱脚の設計（既成認定ベースM - N図）・ブレース架構の主部材及び周辺部材の検討・複数開口が在る耐震壁の開口補強筋設計・その他主架構に関わる検討事項

§ 6 . 一貫計算出力

記載事項
S S 2 の場合には「新出力」の後に「テキスト出力」の順でお願いします。
B U S シリーズの場合には構造計算概要書は同時出力しますが、国土交通省に沿った概要書を添付してください。

認定書の写し